取組事例　新しいまちの顔づくりプロジェクト

（当別町）

当別町では、令和4年 3月に開業した「ロイズタウン駅」（JR北海道札沼線）を活用して、新しい人の流れを創出し、交流人口の増加によるまちの発展を目指している。

関連数値目標・KPI

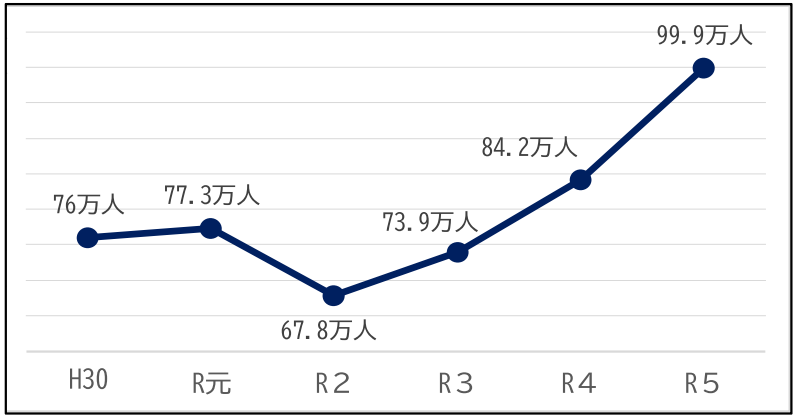
	基準値（R元）	実績（R5）	目標値（R6）	進捗率（%）
観光入込客数	117.4万人	162.5万人	150万人	108.3%
主要イベント来場者数	1.4万人	1.7万人	2万人	85.0%

取組の推進体制

町だけではなく、民間事業者とのコラボレーションにより、新たな観光エリアの創出等を推進。（関係する事業者：株式会社マクニカ、一般社団法人北海道開発技術センター）

また、当プロジェクトをきっかけに関係事業者と包括連携協定も締結。

「北欧の風　道の駅とうべつ」の利用者数



ロイズカカオ＆チョコレートタウンやロイズタウン駅の開業により、観光客が増加しエリア一体の賑わいが創出され、相乗効果で道の駅の利用者数が増加傾向にある。

取組事例　ロイズタウン駅周辺における賑わいの創出

自動運転バスの実証運行

○概要

・期間　夏期間（18日間）
令和5年6月30日（金）
～7月17日（月・祝）
冬期間（5日間）
令和6年1月30日（火）
～2月3日（土）

・経路　JRロイズタウン駅から
ロイズタウン工場（約700m）

○主な成果

実証運行に2,518名が乗車

11年ぶりとなるバスまつりの開催

○概要

・開催日　令和5年7月16日（日）
・会　場　ロイズタウン駅駅前広場
・内　容　新旧のバスの車両展示や
子ども向けイベント、
キッチンカー等

○主な成果

ロイズカカオ＆チョコレートタウンでのイベントや北欧の風 道の駅とうべつにおけるキッチンカーの出店等、複数の施設で連動することにより駅周辺エリア全体の賑わいを創出